

鉄筋継手部検査技術者制度の一部改正について

社団法人 日本鉄筋継手協会

1. 鉄筋継手部検査技術者技量検定試験の改正点について

次の(1)～(8)が主な改正内容で、平成21年6月以降に実施する検定試験より施行します。
また、次頁の表1に検定試験の枠組み、表2に受験料、表3に基本プログラムを示します。

(1) 種別の新設

ガス圧接継手部、溶接継手部及び機械式継手部について単独の資格を設け、溶接継手部は1W種、機械式継手部は1M種とします。また、これまでの1種（ガス圧接継手部）は1G種と名称変更します。

(2) 更新試験の変更

更新試験は実技試験のみとし、学科試験の代わりに、知識や技術の幅を広げるために試験当日に実施する「更新時講習」（座学講習）の受講を必須とします。スケジュールは午前中に「更新時講習」を実施し、午後に実技試験を行う予定です。

(3) 学科試験問題数及び試験時間の変更（新規試験）

学科試験の問題数は1G種、1W種及び1M種は10問、2種は15問、3種は20問です。試験時間は1G種、1W種及び1M種は20分、2種は30分、3種は40分です。

(4) 超音波探傷・測定実技試験体本数及び試験時間の変更

超音波探傷・測定実技試験の試験体本数は、新規・更新ともに対象継手部毎に5本ずつになります。試験時間は、1G種、1W種及び1M種は30分、2種は40分、3種は60分です。

(5) 受験資格の変更

平成19年4月に鉄筋継手部検査技術者制度が施行され、この制度の移行期間として平成21年5月31日までは、新しい技術を周知させる目的で「鉄筋継手部検査技術講習会」の受講を義務付けていましたが、移行期間が終了するため、今後は、「鉄筋継手部検査技術講習会」の受講は任意となります。

(6) 使用できる超音波探傷器の拡大

使用できる超音波探傷器を拡大しました。1G種、1W種、2種は専用探傷器又は汎用探傷器が使用でき、1M種、3種は汎用探傷器のみとなります。

(7) JRJS（旧NAKS）0003の改訂に伴う使用できる超音波探傷器、探触子の拡大

機械式継手の鉄筋挿入長さを測定する際に使用できる超音波探傷器はデジタル式汎用探傷器に限定していましたが、日本鉄筋継手協会規格 JRJS（旧NAKS）0003（機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）の改訂に伴い、アナログ式及びデジタル式汎用探傷器を使用できるようになります。また、探触子は周波数2MHz、5×5mmのSH用探触子に限定していましたが、周波数2MHz又は5MHz、寸法は5×5mm又は10×10mmを使用できるようになります。

(8) 3種受験者への協会保有探傷器及び探触子貸出しの取りやめ

3種受験者に対して暫定的に協会の保有する超音波探傷器及び探触子の貸出しを行っていましたが、市場における機器製品の不足が収まったことやJRJS 0003の改訂により機器類の選択肢が増えることから、貸出しがなくなります。

表1 新しい鉄筋継手部検査技術者技量資格検定試験の枠組み

資格種別	検査できる鉄筋継手部	受験資格※2※3	有効期限	学科試験※1		超音波探傷・測定実技試験			外観検査実技試験	
				学科試験問題数	試験時間	探傷器	試験体本数	試験時間	試験体本数	試験時間
1G種	圧接	18歳以上	3年	10問	20分	汎用探傷器 又は専用探傷器	圧接5本	30分	圧接5本	5分
1W種	溶接			10問	20分	汎用探傷器 又は専用探傷器	溶接5本	30分	溶接5本	5分
1M種	機械式			10問	20分	汎用探傷器	機械式5本	30分	機械式5本	5分
2種	圧接 溶接	15問		30分	汎用探傷器 又は専用探傷器	圧接5本 溶接5本	40分	圧接5本 溶接5本	10分	
3種	圧接 溶接 機械式	18歳以上 JSND1 UT 資格保有者		20問	40分	汎用探傷器	圧接5本 溶接5本 機械式5本	60分	圧接5本 溶接5本 機械式5本	15分

※1. 学科試験は新規試験のみで、更新の場合、当日実施する更新時講習を受講しなければならない。

※2. 鉄筋ガス圧接部超音波探傷検査技術者は、更新期間にA種の場合、2種もしくは3種、S種の場合2種、1G種もしくは1W種の更新試験を受験することができる。

※3. 更新試験は、保有する資格種別と同種別もしくは3種登録者は1G種、1W種、1M種もしくは2種、2種登録者は1G種もしくは1W種を受験することができる。

表2 鉄筋継手部検査技術者技量検定試験 受験料

(1) 会員

試験種別	1G・1W・1M種	2種	3種
新規・更新試験	20,000円	25,000円	30,000円
追試験	18,000円	22,500円	27,000円

(2) 会員外

試験種別	1G・1W・1M種	2種	3種
新規・更新試験	34,000円	42,500円	51,000円
追試験	30,500円	38,500円	46,000円

表3 鉄筋継手部検査技術者技量検定試験 プログラム※1

試験種類	プログラム
新規試験	9:00 集合→実技試験(9:30~11:30頃)→学科試験(12:00~12:40頃)→終了
更新試験	9:45 集合→更新時講習(10:00~11:20頃)→実技試験(13:00~15:00頃)→終了

※1 会場の状況や受験者数により変動します。

2. 新しい鉄筋継手部検査技術講習会について

鉄筋継手部検査技術者技量検定試験を受験するには、講習会の受講が義務付けられていましたが、検定規定の改正により、受講は任意となります。

しかし、平成21年6月以降の検定試験では、機械式継手の超音波測定実技試験の試験体本数が従来の3本から5本に増え、3種の新規受験者はもちろんのこと、更新受験者も実技試験の確認のために講習会の受講をお勧めします。

さらに、平成21年12月からは、溶接継手の超音波探傷実技試験に日本鉄筋継手協会規格JRJS 0005（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波探傷試験方法及び判定基準）における「斜めK走査法」が取り入れられ

る予定です。講習会では、JRJS 0005に基づく探傷法についても、座学、実技講習で触れていきます。1W種、2種、3種を受験する方は、あらかじめ講習会を受講することをお勧めします。

表4に平成21年度の日程、表5に受講料、表6にプログラムを示します。

表4 平成21年度鉄筋継手部検査技術講習会日程

日程	開催地区
平成 21 年 7 月 3 日 (金)	札幌
平成 21 年 7 月 10 日 (金)	名古屋
平成 21 年 8 月 7 日 (金)	つくば
平成 21 年 10 月 2 日 (金)	福岡
平成 21 年 10 月 23 日 (金)	大阪
平成 21 年 11 月 13 日 (金)	仙台

表5 鉄筋継手部検査技術講習会 受講料

会員	27,000 円
会員外	45,000 円

※テキスト代含む

探傷器貸出を希望の場合

貸出料：1 台につき 8,000 円

USG27A (日本クラウトレーマ)

FD52 (菱電湘南エレクトロニクス)

USM35XRB (GE インスペクション・ジャパン)

※数量に限りがあります

表 6 鉄筋継手部検査技術講習会 プログラム

	講習時間		座学講習内容	対象種別		
				1G 種	1W・2 種	1M・3 種
座学講習	9:00~9:50	50分	鉄筋と鉄筋継手	■	■	■
	9:55~10:45	50分	非破壊検査及び超音波探傷概論		■	■
	10:50~11:40	50分	ガス圧接継手と検査	■	■	■
	11:45~12:35	50分	溶接継手と検査		■	■
	12:35~13:15	40分	昼休憩			■
	13:15~14:05	50分	機械式継手と検査			■
実技講習	講習時間		実技講習内容			
	11:45~12:55	70分	ガス圧接 (外観・超音波実技)	■		
	13:15~14:45	90分	ガス圧接・溶接 (外観・超音波実技)	■	■	
	14:45~16:35	110分	ガス圧接・溶接・機械式 (外観・超音波実技)	■	■	■

※1G種、1W種、2種対象者も16:35まで継続して受講可能

3. 「1種」資格者について

鉄筋継手部検査技術者1種資格は、制度改正で1G種に変更します。そのため、現在、1種資格を保有している方は、適格性証明書を協会宛にお送り下さい。1G種の適格性証明書に書き替えを行い郵送します。

提出先：〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-14安井平河町2階 (社) 日本鉄筋継手協会

受付：平成21年7月30日(木)～随時受付

4. 溶接継手の超音波探傷検査実技試験について

平成21年12月より、溶接継手の超音波探傷実技試験にJRJS 0005に基づく斜めK走査法が取り入れられる予定です。

詳細については、鉄筋継手部検査技術講習会、協会誌及び協会ホームページ(<http://www.tekkin-tsugite.or.jp>)にてお知らせします。

以上